



大阪出身の元「八ヶ岳歩こう会」メンバーのMさんが「大阪食い倒れウォーク」を企画してくれました。初日は新世界で「二度漬け」と聞き、ただひたすら食べまくって料理店をハシゴするらしい！とそこだけに目がいつて勇んで参加。しかしッ!!

ハードなウォーク? 大阪初日、朝食後天王寺駅の北側にある四天王寺へ向かいました。1400年前、聖徳太子が創建したとされるこのお寺、広大な境内で、熊野古道へ向かう人たちが道中安全を祈願したといわれる「礼拝石」や石舞台などを見学、さらに腰痛封じの石、大阪夏の陣で戦死した真田幸村終焉の碑などの史跡や仏閣などを巡り標高26mの茶臼山にも登りました。なんだかしつかり歩いている感じ?

翌日は、阿倍野駅から奈良の桜井駅へ。目的の大神(おみわ)神社は背後にある三輪山がご神体。パワースポットとしても有名だそうです。恥ずかしながら私たち、三輪山のことを全く知らず、桜井駅に降り立ったのです。駅を出ると、なにやら『卑弥呼の里』などという標識や看板

「三輪ソーマン」の幟もたくさんあって「そうかッ!」こは三輪ソーマンの三輪! だったのか、という程度!?

山野辺の道をしばらく歩くと目指す大神神社に着きました。背後の三輪山に抱かれた大きな神殿の前に立つと、厳かな気分になって、静かに合掌...。そして拝殿左手の輪山登拝入口へ続く道に入りました。登山でなく「登拝」というんですね。森の中の道

登る前に諸注意がありました。「御山に登る方は皆礼拝の為に登っており、その妨げになるので、おしゃべりや飲食は控えて下さい。お水だけは可です」「社務所で『登拝之証』を購入し、それを首から提げて登拝していただきます」

登拝之証を首からさげ、社務所脇に備え付けられた竹の杖を借り出発、小さな鳥居を潜って登拝道に入りました。往復で2時間程と聞いていたので、大した事ないだろうと思っていたらとんでもない! 山頂へ続く登拝道は急な階段

お昼はまだかなと思っていると、なにやら派手なコテコテの看板が建ち並ぶ商店街に出来ました。新世界到着です! フグやらカニやらの看板に目を奪われながらも最初の交差点の角にあった目指す串揚げのお店に転がりこみました。

「生ビール!!」の掛け声と共に、店内に張ってある串揚げのメニューの中から「アスパラ、れんこん、たまねぎ、鶏肉」など次々に注文。注文、ブルーの上にはバットに入ったソースに「二度漬けお断り!」の注意書が張ってあります。皆、勢いよく食べ飲みました。そして夜はまたまた居酒屋街へ繰り出したのです!

お昼はまだかなと思っていると、なにやら派手なコテコテの看板が建ち並ぶ商店街に出来ました。新世界到着です! フグやらカニやらの看板に目を奪われながらも最初の交差点の角にあった目指す串揚げのお店に転がりこみました。

お昼はまだかなと思っていると、なにやら派手なコテコテの看板が建ち並ぶ商店街に出来ました。新世界到着です! フグやらカニやらの看板に目を奪われながらも最初の交差点の角にあった目指す串揚げのお店に転がりこみました。

お昼はまだかなと思っていると、なにやら派手なコテコテの看板が建ち並ぶ商店街に出来ました。新世界到着です! フグやらカニやらの看板に目を奪われながらも最初の交差点の角にあった目指す串揚げのお店に転がりこみました。

お昼はまだかなと思っていると、なにやら派手なコテコテの看板が建ち並ぶ商店街に出来ました。新世界到着です! フグやらカニやらの看板に目を奪われながらも最初の交差点の角にあった目指す串揚げのお店に転がりこみました。

前日は新世界で食い倒れ!

神宿る三輪山

今回は初めての関西の山です。1日目は日本で一番低い茶臼山、2日目は神聖な三輪山! 全く知りませんでした。三輪山に登れたということはそれだけで幸運なことらしいです。「山の辺の路」はまたぜひ歩いてみたいところでした。

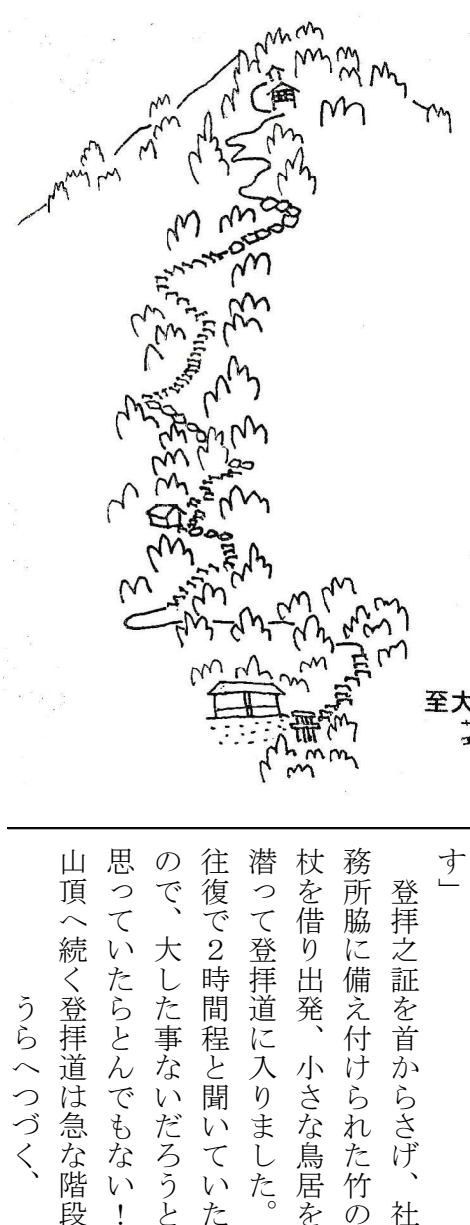
スペイン巡礼の路・2016年編、出国中止の危機を乗り越え? やっと歩き出しました。コンポステラから50キロほど戻って、メリデという町からスタートして、今回は大聖堂まで歩いた報告です。

お昼はまだかなと思っていると、なにやら派手なコテコテの看板が建ち並ぶ商店街に出来ました。新世界到着です! フグやらカニやらの看板に目を奪われながらも最初の交差点の角にあった目指す串揚げのお店に転がりこみました。

お昼はまだかなと思っていると、なにやら派手なコテコテの看板が建ち並ぶ商店街に出来ました。新世界到着です! フグやらカニやらの看板に目を奪われながらも最初の交差点の角にあった目指す串揚げのお店に転がりこみました。

お昼はまだかなと思っていると、なにやら派手なコテコテの看板が建ち並ぶ商店街に出来ました。新世界到着です! フグやらカニやらの看板に目を奪われながらも最初の交差点の角にあった目指す串揚げのお店に転がりこみました。

お昼はまだかなと思っていると、なにやら派手なコテコテの看板が建ち並ぶ商店街に出来ました。新世界到着です! フグやらカニやらの看板に目を奪われながらも最初の交差点の角にあった目指す串揚げのお店に転がりこみました。



巻の熱い! 県議選が熱い!

4月7日に山梨県議会議員選挙が行われます。2年前の市議選と市長選から選挙に目覚め? 「選挙は大事」キャンペーン? を勝手にやっている私(たち?)。なんと、北杜市では、市民が「この人こそ」と思った人に立候補してもらいそれを支持した人たちが手弁当で支えるという画期的? な選挙をやっています。北杜市は2名の定員。今までは自民党が2議席独占。2人とも中央とのパイプが売り? 市民派候補は「市民とのパイプ」が信条です。今まで県議って、いったい何をやっているんだろう? と、まるでピンときていなかったのは、パイプになってくれる議員さんがいなかったということかな? 一応ウグイス「嬢」(?) の補欠に立候補予定?? 春は来るかな?

おしゃべりは禁止

表からつづく

が多く、登り始めてすぐに早くも息が上がります。途中、白装束で下りて来る人、なんと素足でした。黙々と口の中でお経(?)を唱えながらすれ違う姿を見て思わず昔筋がびる思いでした。

登拝の間、雨あがる

途中に滝があり、東屋で休憩、もう少しかと思ったら、まだ三分の一も登っていないとか!この日は、小雨で足元にも注意が必要です。最初は傘を差して歩いていましたが杖も持つているし、雨具のフードだけの方がいいと言われ傘はしまいました。なんと!それから雨はほとんど止み、頂上に近づくにつれ、日も差し手きたではありませんか!

直登の急な階段にヨレヨレになりながら、やっと山頂にある高宮(こうのみや)神社、その奥にある奥津磐座(おきついわくら)にたどり着きました。そして下りです。下りが苦手な私、早くも膝がガクガク。杖があつて助かりました。皆に遅れること数10分、やっとのことで登拝道入口の鳥居に辿りつきました。入口で待っていてくれたメンバーと記念写真。みんな清々しい表情。登っている間は写真も撮ってはいけなそうです。

さあ、やっとこれでお昼だ!

と思っていたら、登拝口の脇からまだまだ山沿いの道へ入っていきまます、「エッ!?下りたら昼食じゃないの?」という周平の不満顔。

さすが♪本場です

でも、30分程歩くと森を抜け、立派な境内の神社に出ました。檜原神社でした。その大鳥居を出たところに茶店があり、テーブルに美味しそうなお弁当が並んでいます。そこがきょうのお昼の場所です。Mさんが前もって予約してくれていたのです。「ハハアーツ」ブツブツ言っていた周平も途端に平身低頭。「さすがMさん」などと、調子良い。お弁当を食べ終わる頃、三輪ソーマンの温麺が出され、おなかいっぱいと言っていた人もペロリ。「さすが本場、とてもおいしい」と口々にお礼の言葉を述べました。

遅いお昼を済ませ、しばらく歩いていくと、桜井線・巻向(まきむく)駅に出了ました。ここで今回の大阪食い倒れウォークは完歩です。 やって来た電車に乗り、京都、名古屋を経由して八ヶ岳に帰ってきました。食い倒れと神聖な山、どちらも素晴らしく充実の二日間でした!

スペイン巡礼の道 2016

No.2 メリデ〜コンポステラ

サンティゴ・デ・コンポステラ

テイーラのフジケン一行が泊まっているホテルになんとかたどり着き、出国中止の大事件の顛末を一頻り報告した後、大聖堂脇のBAR街へ繰り出し、楽しく食べ飲みました。このためにこの2日間必死でがんばってきたのですから、乾杯のビール(カーニヤー)の味もひとしおというものです。ホテルに戻って一息いれてから夕食、その後、大聖堂前の広場へ繰り出しました。

夜もかなり更けてきているのに、広場は多くの人たちで賑わっています。広場を囲んで建っている建物の軒下では、いろいろなグループが民族衣装をまとって、ギターの演奏したり歌っています。

歌舞音曲に出会うと、黙っていられない周平。気がつく踊りの中に入って、得意のマツケンサンバの振り腰を振っているではありませんか。陽気なお嬢さんが大きな笑い声で囃してくれます。ますます調子に乗った周平は絶好調!この2日間、出国中止の犬騒動で疲れ果てていたはずなのに・・・。

翌朝、この日、スイス経由

で日本に戻る予定のフジケン一行をホテルで見送り、私たちは今回の出発地メリデへ向かうバスに乗るため、バスセンターに向かいました。

ホテルの人に「バスセンターなら20〜25分」と言われ、50分ほど前にホテルを出発。しかし、そのバスセンターがなかなか見つかりません。町の人たちに聞きながら市内をウロウロと1時間・・・。ようやくバスセンターにたどり着いたときは、予定のバスは出たあと、2時間後のバスに乗り込みました。

バスは所々、去年歩いた見覚えのある?町や村を過ぎ、1時間ほどでメリデの街に着きました。中央の広場に降り立ち、とりあえず広場から10分位のところにあるタコ料理のレストランへ行ってみました。見覚えのあるお店の佇まい、ちよつと見るつもりが思わず店内へ・・・。

まだお昼の営業中で、プルポ(クコ料理)とコップの白ワインを頂きました。懐かしいプルポと白ワインが、疲れ果てていた五臓六腑に染み渡りました! 食事の後、街の広湯まで戻り、広場の交差点の脇のカミーノの道を入ったところにあつたオスタルに入り、お部屋を見せてもらうよう頼みました。宿の主人が部屋に案内してく

れ、説明をしている最中、周平は部屋のベッドに倒れこんで寝入ってしまった。本当は夜も再度プルポの店に行くつもりが二人ともそのままダウン。

やっと始まる巡礼



翌朝やっとカミーノ・巡礼の旅が始まります。この日は10kmほど歩いてリバディショ・デ・バイショの新しいオスタル泊。翌日はアルスアアの街。道の途中にあつた「THEWAY」の看板。私たちをサンティアゴ巡礼の道に導いてくれた映画「星の旅人たち」の原題です。

このネーミングに惹かれ、そのペンション泊。近くにレストランやバルはありません。お部屋のパンフレットにレストラン送迎と書いてあつたので、聞いてみると車で送ってくれるとのこと。約20分で広い道路の脇に建つレストランへ。「帰りに迎えに来てくれるのかな?」と心配していたら、オーナーもお店のカウンターでコーヒーを飲みながら私たちの食事が終わるのを待っていてくれました。

さて、この日はラバコージャまでの予足。ここはコンポステラから約10キロ。飛行場かあるところです。結婚式をやっていた広い庭のある素敵

なホテル泊。値段はリーズナブルでした。

さて、いよいよきょうは2度目のコンポステラへー 見覚えのある場所もありますが、こんなところ通ったかなと思う場所もたくさん。ともかく黄色い矢印の方向へ歩いていくと、一昨年泊まったモンテ・ド・ゴソの大きなアルベルゲの建物群。ここにきたら歓喜の丘に行つて一昨年探し回った2人の巡礼者像に会わなくちや!

そして、あとはひたすら大聖堂を目指します。今回は裏の広場に行つてしまつたり、ウロウロしましたが、今回は大丈夫!ホテルのチェックインには時間があるので、そのままミサに参加しようとしたら、入口の職員に怖い顔で制止され、他のはほとんど大つていくのどうしてダメなの?と途方にくれていたら、他の人がリュックを指差します。入口看板に禁止事項の絵があつて、リュックは持ち込んではいけないのでした。近くのお店に荷物を預け、無事、中へ。そして前回は見られなかったボタフメイロ(天香炉)がブー

ンブーンと揺れる様を見ることもできました。賛美歌の歌声は何度聞いても心に続くしみました。(続く)

